

申
4
号

「営業統括センターの体制見直しについて」に関する申し入れ 提出!

盛岡地本は12月26日に「営業統括センターの体制見直し」の提案を受け、組合員との議論を行ってきました。本施策は、2024年3月16日に北上駅の作業ダイヤの見直しにより出面数を減とする施策です。同時に、新花巻駅の作業ダイヤも見直す考えが示されています。北上営業統括センターにおいてはこの間、JR東労組として「職場では要員がひっ迫している状況」を主張し、労使で議論してきています。しかし、北上駅においては業務がなくならずに出面数を減とする施策であり、職場は「会社は職場実態を認識しているのか」と不満の声が上がっています。また、新花巻駅でも作業ダイヤが変更される根拠が示されないことや、みどりの窓口の営業時間の変更もあり、お客さまへのサービスレベルの低下が懸念されています。

施策を進めるにあたり、安全・サービスレベルは低下させてはならず、その前提は全社員の「安全・健康・ゆとり・働きがい・豊かさ」が担保された業務体制の構築が必要です。従って下記の通り申し入れを提出しました!

1. 営業統括センターの体制見直しに至った根拠と、安全・サービスレベルの維持・向上が図れる根拠を明らかにすること。
2. 新花巻駅において、作業ダイヤ設定上北上以南からの通勤が困難なことから、必要により前泊・後泊の配慮をすること。
3. 北上駅において、作業ダイヤ設定上盛岡以北からの通勤が困難なことから、前泊を前提とした作業ダイヤとしないこと。
4. 体制見直し実施以降も安全・サービスレベルが維持・向上し教育ができる体制を構築すること。また、安全・サービスレベルが維持・向上し教育が行える現在員数を確保すること。

安全・サービスレベルの維持・向上としっかり教育が行える体制をつくらう!